

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公表番号】特表2009-515723(P2009-515723A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-541227(P2008-541227)

【国際特許分類】

B 2 3 B 21/00 (2006.01)

【F I】

B 2 3 B 21/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月2日(2009.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

工具台と、

前記工具台に取り付けられるとともに、制御器と電気的に連通するように構成された作動装置と、

前記作動装置に取り付けられるとともに、切削されるべきワークピースに対して移動するように設けられた工具チップと、を有する切削工具アセンブリであって、

前記作動装置が、前記ワークピースを選択的に切削するための、前記ワークピースを横断方向に横切るy方向に平行な軸線回りの前記工具チップの回転の可変制御を行う、切削工具アセンブリ。

【請求項2】

ワークピースを切削する方法であって、

工具台を用意する工程と、

前記工具台に取付けられるとともに、制御器と電気的に連通するように構成された作動装置を用意する工程と、

切削されるべきワークピースに対して工具チップが移動するように、該工具チップを前記作動装置に配置する工程と、

前記ワークピースを選択的に切削するための、前記ワークピースを横断方向に横切るy方向に平行な軸線回りの前記工具チップの回転の可変制御を行うように前記作動装置を構成する工程と、を含む方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

システム10は、コンピュータ12により制御される。コンピュータ12は、例えば、次の構成要素を有する：1つ以上のアプリケーション16を記憶する記憶装置14；情報の不揮発性記憶を用意するための二次記憶装置18；情報又は指令を受け取るための入力装置20；記憶装置14又は二次記憶装置18に記憶された、又は別の供給源から受け取

ったアプリケーションを実行するためのプロセッサ 2 2 ; 情報の視覚表示を出力するための表示装置 2 4 ; 及び聴覚情報のためのスピーカ又は情報のハードコピーのためのプリンタなど、情報を他の形態で出力するための出力装置 2 6 。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

図 5 A ~ 5 D は、代表的な工具チップ 1 0 0 の図であり、これは、接着剤、硬ろう、軟ろう、又は他の方法などの使用によって、工具チップキャリア 9 0 の表面 9 8 に固定されることがある。図 5 A は、工具チップ 1 0 0 の斜視図である。図 5 B は、工具チップ 1 0 0 の正面図である。図 5 C は、工具チップ 1 0 0 の底面図である。図 5 D は、工具チップ 1 0 0 の側面図である。図 5 A ~ 5 D に示されるように、工具チップ 1 0 0 は、側面 1 0 4 、先細及び角度付きの前側表面 1 0 6 、及び工具チップキャリア 9 0 の表面 9 8 に固定のための底表面 1 0 2 を含む。工具チップ 1 0 0 の前側部分 1 0 5 が、作動装置の制御下で、ワークピースの機械加工のために使用される。工具チップ 1 0 0 は、例えば、ダイヤモンドスラブで実施することができる。